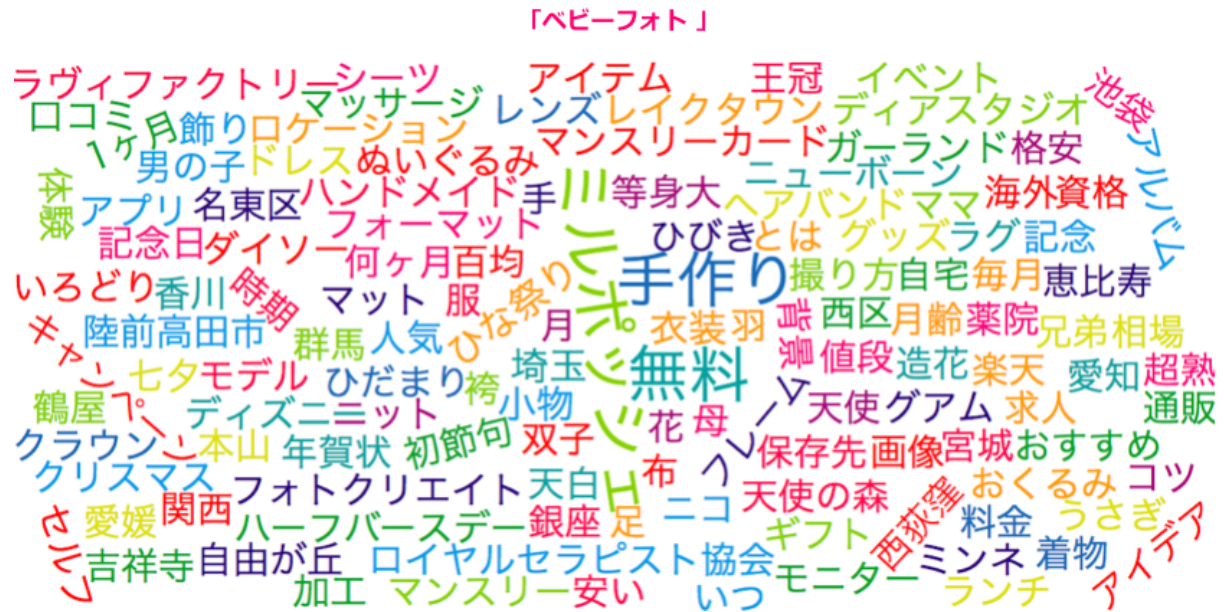


ブログ記事キーワード選定背景:

まず、HP内部情報でメインとなっている「ベビーフォト」というキーワードをピックアップ致しました。

次に、この「ベビーフォト」というキーワードに対してユーザーがどのような検索意図を持っているのかを分析致しました。

分析結果が下記でございます。



こちらは弊社分析ツールを用い、抽出致しました。

上記の図に表示されているキーワードの一つが「ベビーフォト」というキーワードと同時に入力されているキーワードを指し、こちらが「ベビーフォト」というキーワードに対してユーザーが関心を持っている情報になります。

弊社では上記の図のように分析ツールを用い、ユーザーの検索意図に繋がるキーワードを選定し、それをもとに記事の執筆を行っています。

これにより、「ベビーフォト」というキーワードに対して関連する話題、キーワードが増えていくため、HP全体の強化に繋がります。

タイトル: 赤ちゃんの写真の撮り方は？おしゃれで可愛いベビーフォト

赤ちゃんが生まれると、たくさん写真を撮りたくなります。でも、どのように撮れば赤ちゃんがかわいく撮れるのかよくわかりませんよね。では、可愛い赤ちゃんをさらにかわいく撮るコツをお教えしましょう。

■赤ちゃんの撮り方

赤ちゃんは生まれたばかりでもハイハイするようになって、歩きだしても可愛いものです。

そんな我が子の成長していく姿を写真に残したいと誰でも思うでしょう。ただ普通に撮っても可愛い我が子ですが、もっとかわいく撮る方法があるはず。たとえば、笑顔の赤ちゃんも可愛いですが、泣き顔だって写真に撮っておきたいのではないのでしょうか。

また、赤ちゃんの寝顔だけを集めたアルバムも、かわいいと評判がよかったりします。赤ちゃんの成長は大人が考える以上に早いですから、今のかわいさは今のうちに撮っておかないと、すぐに撮れなくなってしまう。

■撮り方を変えてみる

赤ちゃんを撮るときは、どうしても斜め上からのアングルになりがちです。撮る大人のほうが大きいからどうしてもそうなるのですが、たまにはしゃがんで真下から撮るだけでも、これまでと違った写真になります。

赤ちゃんが歩き始めたら、ベストショットを撮ろうとカメラを構えると、赤ちゃんが近づいてきてうまく撮ることができません。

そんなときは、常に赤ちゃんから2メートルの距離を取って撮るようにしてみてください。前もって2メートルの距離を測っておき、その距離を頭で覚えておいて、常にその距離を保つようにして撮るとうまくいきます。

つまり、赤ちゃんが近づいてきたら、こちらが離れて常に2メートルの間隔を保つようにすると、いい写真が撮れますよ。

カメラのピントを手動にするなら、あらかじめピントを2メートルに設定しておきましょう。これで歩く赤ちゃんの写真もバッチリです。

■人と一緒に撮る

お父さんが撮るなら、お母さんと赤ちゃんが遊んでいるショットを撮りましょう。赤ちゃんの笑顔だけでなく、お母さんの嬉しそうな顔を撮ることで、さらにその場の臨場感が伝わります。

祖父母が遊びに来たら、祖父母と一緒に写真を撮るとまた違った写真になります。祖父母の孫を見つめるまなざしには、親が我が子を見るのとはまた違った格別なものがあります。

友人が遊びに来たときも、同じように友人と一緒に撮っておきましょう。赤ちゃんの表情は、一緒に遊ぶ人によって微妙に違いますから、あとで見比べると面白いですよ。

赤ちゃんを撮った写真は、将来大きくなった赤ちゃんも見る写真ですから、あとで見て喜ぶような写真をたくさん残してあげましょう。